

国立病院機構の診療情報分析

1. 診療情報分析部のミッション

ネットワークを活用した診療情報の収集・分析により、医療の質の向上と均てん化につながるエビデンスを蓄積するとともに医療政策に貢献する。

●臨床評価指標事業●

医療の質を定量的に評価するために70項目ある臨床評価指標をレセプトデータやDPCデータ等により算出する。加えて、臨床評価指標の精度向上のための分析を行う。

●診療機能分析事業●

機構病院や公表されているレセプトデータやDPCデータ等により、機構病院の特徴、傾向などを把握するための分析を行い、各病院の医療の質の向上や経営戦略に資する情報を提供する。

●診療情報の収集および分析システム運用開発●

機構病院から匿名化したレセプトデータやDPCデータを収集・分析するためのデータベースの運用および開発を行う。

●研究活動●

外部資金による研究を実施する。

2. 診療情報データベースについて

- ① 各病院のレセプトデータ、DPC調査用データ等診療情報を収集し、分析を行うためのデータベースを構築する。レセプトデータについては、入院・外来の両方を収集の対象とする。
- ② 種類の異なる診療情報(入院レセと外来レセ等)を同一患者の紐付けを行った上で、患者単位のデータベースを構築。
- ③ 診療情報は、患者IDを匿名化したコード（匿名化コード）により、同一患者の紐付けを行い、患者個票単位のデータベースとする。
- ④ その時々のような様々な要求に随時応えていくことができるよう、定型分析機能は持たないシステムとする。
- ⑤ 診療情報分析部長及び研究員からの指示に基づき、S Eがデータベースにアクセスし、その都度必要なプログラム作成を行うなどして必要な分析・帳票の作成等を行う。

全144病院から収集するデータ

診療情報データベースで収集する診療情報の種類

【DPC病院】

- DPC調査データ（入院）
- DPCレセプトデータ（入院）
- レセプトデータ（入院・外来）

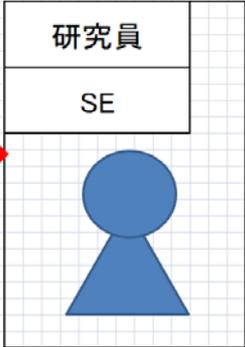
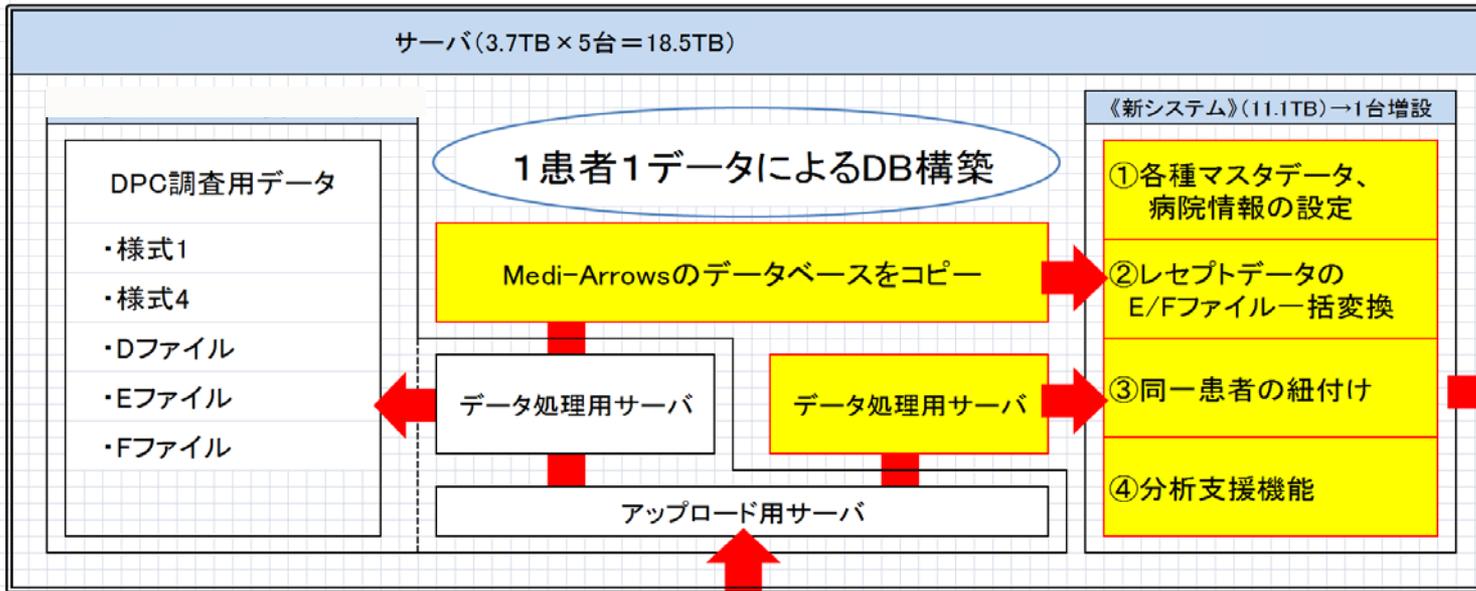
【非DPC病院】

- レセプトデータ（入院・外来）
- レセプトE/Fファイル形式データ（入院）

⇒標準医事会計システム導入病院は、各病院で医事会計データのE/Fファイル変換を行った上で送信

平成22年10月に構築し、運用開始

<診療情報収集・分析システムの概要>



SE業務について

研究員の指示を受け、DBから必要な情報を取り出し、分析を行うためのプログラムを作成する。

